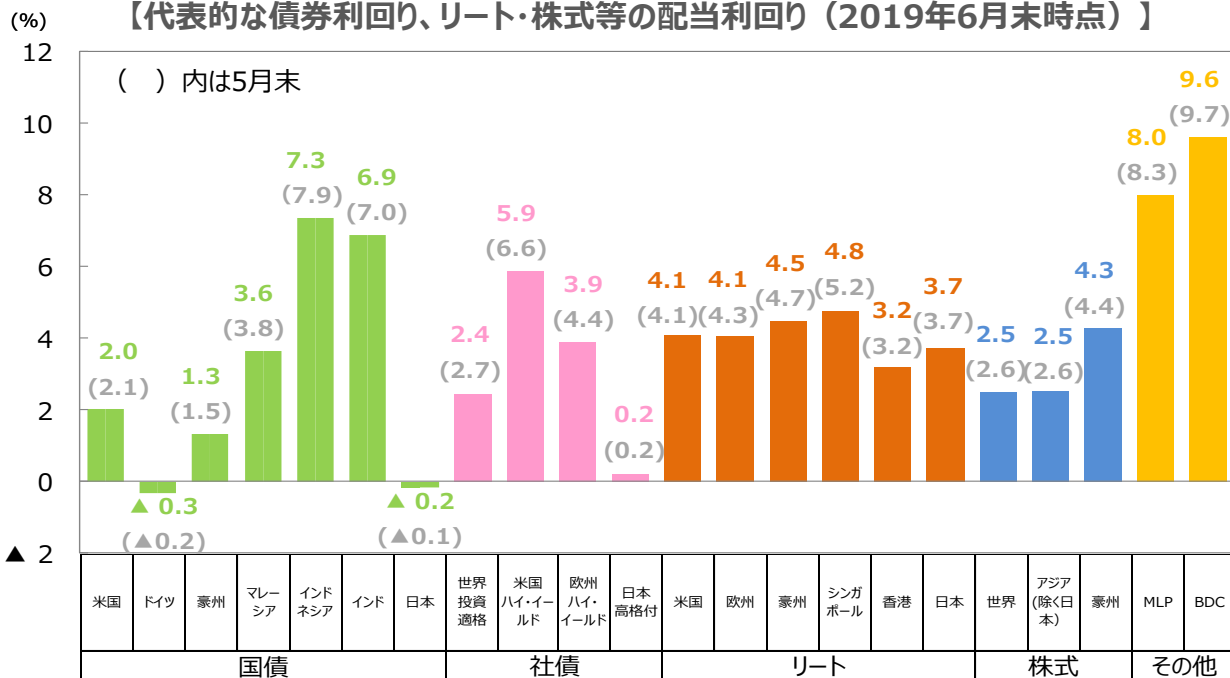


今日のトピック 主要な資産の利回り比較（2019年7月）

欧米中銀の金融緩和期待から国債利回りが低下

- 6月は、米連邦準備制度理事会（FRB）や、欧州中央銀行（ECB）による利下げ期待の高まりなどから、世界的に緩和的な金融環境が続くとの見方が広がり10年国債利回りが軒並み低下しました。世界投資適格社債、米欧のハイ・イールド社債等にも、より高い金利を求める資金が流入したため利回りが低下しました。
- 主要な債券利回りが低下する中、相対的に利回りの高いリートにも資金が流入し価格が上昇したため、欧州、豪州、シンガポール、日本のリーートの配当利回りは低下しました。香港リートは、価格の上昇とともに配当が増加したため、配当利回りは小幅に上昇しました。米国リートもわずかながら上昇しました。
- 同様に、金融緩和期待から株式の価格が上昇したため、世界、アジア（除く日本）の配当利回りは低下しました。MLP、BDCの配当利回りも低下しました。

【代表的な債券利回り、リート・株式等の配当利回り（2019年6月末時点）】


(注1) 国債は10年国債利回り。社債は世界投資適格社債がBloomberg Barclays Global Aggregate Corporates Index、米国ハイ・イールド社債がBloomberg Barclays U.S. High Yield Index、欧州ハイ・イールド社債がBloomberg Barclays Pan-European High Yield Index、日本高格付社債がNOMURA-BPI事業債指数。リートはすべてS&P先進国リート指数の主な国・地域指数。株式は世界株式がMSCI AC ワールドインデックス、アジア（除く日本）株式がMSCI AC アジア（除く日本）インデックス、豪州株式がMSCI豪州インデックス。MLPはアメリアンMLP・インデックス、BDCはウェルズファーゴBDC・インデックス。

(注2) MLPは有限責任組合（Master Limited Partnership）で、米国で行われている共同投資事業形態の1つです。エネルギーや天然資源に関する事業などを行っているMLPがあります。BDCは米国の事業開発会社（Business Development Companies）です。銀行とは異なる企業形態で、中堅企業等向けに、融資や出資（株式の取得など）を行う会社です。

(出所) Bloomberg L.P.、野村證券金融工学研究センター、S&P Dow Jones Indices LLC、FactSetのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

**ここも
チェック!**
2019年7月3日 世界の「投信マネー」(2019年6月)
2019年7月3日 先月のマーケットの振り返り(2019年6月)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。